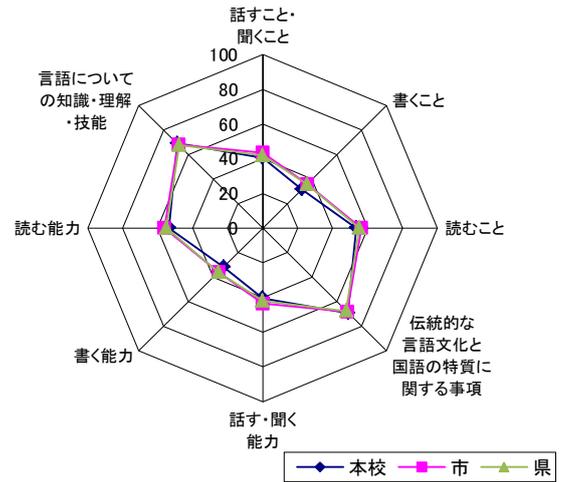


宇都宮市立平石北小学校 第4学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	40.4	43.5	41.8
	書くこと	31.6	35.9	35.8
	読むこと	53.5	56.3	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.1	68.2	67.5
観点	話す・聞く能力	40.4	43.5	41.8
	書く能力	31.6	35.9	35.8
	読む能力	53.5	56.3	55.2
	言語についての知識・理解・技能	69.1	68.2	67.5



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均よりやや下回っている。 話し合いにおける司会者の役割を答える問題については、正答率が65%と市の平均と同じくらいだが、進行に沿った話し合いができていないかを記述で答える問題については、8%と極端に低く、市の平均を10ポイント以上下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を考えながら、大切なことを聞き逃さないように聞く態度を養う。 グループで話し合う際に、話し合いの役割分担などに気を付けたり、テーマに沿って話し合ったりする機会を意図的に増やしていく。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均よりやや下回っている。 招待状に入れるべき要素を選択する問題については、正答率が47%で市の平均よりも、やや下回っている。また、招待状の最後に付け足す文を記述する問題については、市の平均より8ポイント低く15%となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や生活等の振り返りを短作文に書かせるなど、継続的に作文指導を行い、文章を書くことに慣れるようにする。 思ったことや考えたことを各教科でも記述する機会を増やし、文章を書くことに慣れるようにする。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均よりやや下回っている。 登場人物の気持ちを想像して内容を読み取る問題については、正答率が市の平均とほぼ同じ81%だが、物語上での登場人物の役割を捉える問題では50%、叙述から登場人物の性格などについて想像して内容を読み取る問題については63%と、市の平均より10ポイント前後低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語文の学習では、一つ一つの言葉を大切にしながら読むとともに、直接言葉に表されていない登場人物の気持ちや思いを読み取るように指導する。 説明文の学習では、筆者の考えが表れている言葉や文章に気を付けて、内容を正確に読み取れるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均とほぼ同じである。 ローマ字を問う問題では正答率が39%市の平均より21ポイント低くなっている。漢字の読み書きについては、市の平均より上回っている方が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 宮っ子学カステップアップシートや漢字練習を継続的に実施し、習熟を図る。 調べ学習等においてパソコンを利用する機会を設け、ローマ字に慣れるようにする。